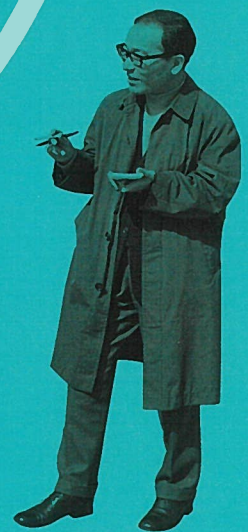


Akira YOSHIMURA's  
Literary works  
translated across  
borders



令和4年度企画展

# 翻訳された YOSHIMURA文学

令和5年

1.20金 → 3.15水 

開館時間 | 9:00~20:30 休館日 | 2月3日(金)・16日(木)

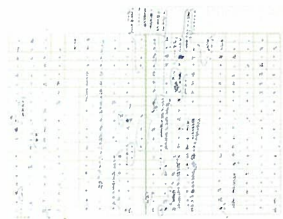
会場 | ゆいの森あらかわ 3階 企画展示室 ※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、開催日時等を変更する可能性があります

吉村昭記念文学館



# 翻訳されたYOSHIMURA文学

## Akira YOSHIMURA's Literary works translated across borders



「群像」昭和55年12月号に発表した「外国文学と私 出会い」の自筆原稿 (津村節子氏寄託資料)



『少女架刑』フランス語版 Actes Sud

このたび吉村昭記念文学館では、令和4年度企画展「翻訳されたYOSHIMURA文学」を開催いたします。

1989年に、吉村昭の短篇「背中の鉄道」がアンソロジーとしてメキシコで紹介されました。これが海外で出版された初の吉村翻訳作品です。その後現在に至るまで60冊以上の翻訳本が世界で出版されています。今回、吉村の全翻訳作品について調査し、できる限りの収集に努めました。企画展で翻訳作品を一挙に紹介するのは、初の試みとなります。

本展では最初に吉村作品の翻訳出版が相次いだ1990年代から2000年代初頭にかけての流れについて、次にとりわけ多くの作品が刊行されているフランスでの吉村作品の受容について紹介します。最後に現在の海外翻訳出版事情について、現代日本人作家の躍進を中心に紹介します。この機会に吉村作品を日本の内外から見つめなおし、新しい魅力を発見していただけたら幸いです。

また、関連イベントとして、フランスで制作された、吉村昭原作「破船」の映画版「Fires in the dark」の上映会を開催いたします。およそ10か国語に訳された「破船」は、吉村の作品の中で最も多言語に翻訳されている作品です。上映会に際し、ドミニク・リエナル監督からのメッセージも特別にいただいております。吉村作品とフランス映画の共鳴をぜひ楽しんでいただきたく、ご案内申し上げます。

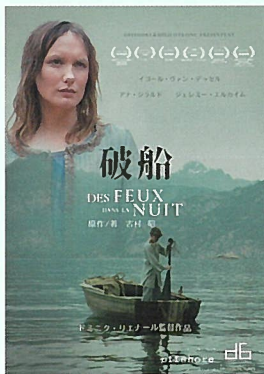


『破船』昭和60年(1985)新潮文庫

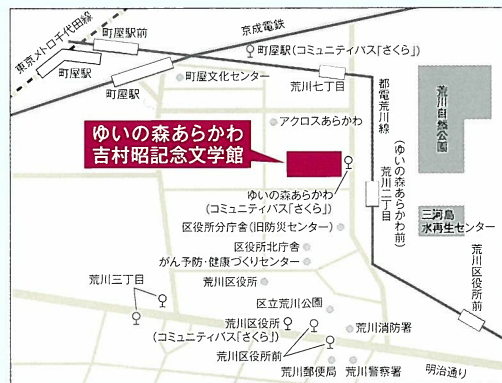
## イベント情報

### 上映会 フランス映画「Fires in the dark」(2020年制作)

日時: 令和5年2月26日(日)  
14時~16時(上映時間98分)  
会場: ゆいの森あらかわ1階 ゆいの森ホール  
定員: 100名  
(応募多数の場合抽選となります。当選者のみ  
2月14日(火)までにお知らせします。)  
参加費: 無料  
申込期間: 2月7日(火)まで



フランス映画「破船」日本版ちらし (D6モーション・ピクチャーズ 提供)



### 展示解説

日時: 令和5年2月19日(日)、  
3月1日(水)  
いずれも14時から30分程度  
会場: ゆいの森あらかわ  
3階 企画展示室  
定員: 15名程度(申込順)  
参加費: 無料

### イベント申込方法

- ①~③のいずれかの方法でお申し込みください。
- ① ゆいの森あらかわ1階総合カウンター
- ② ゆいの森あらかわ HP  
<https://www.yuinomori.city.arakawa.tokyo.jp>
- ③ FAX(03-3802-4350)  
イベント名、氏名(フリガナ)、郵便番号、住所、  
電話番号をご記入ください。

## 吉村昭記念文学館

〒116-0002 東京都荒川区荒川二丁目50番1号  
(ゆいの森あらかわ内)  
TEL 03-3891-4349 FAX 03-3802-4350  
<https://www.yoshimurabungakukan.city.arakawa.tokyo.jp>

アクセス  
都電荒川線 荒川二丁目(ゆいの森あらかわ前)下車徒歩1分  
東京メトロ千代田線・京成線町屋駅下車徒歩8分  
コミュニティバス「さくら」ゆいの森あらかわ下車(土日祝のみ)